櫻園通信56　令和元年9月
東京都健康長寿医療センター
養育院・渋沢記念コーナー
連絡先：老年学情報センター

養育院が出来た時代
ー明治５年の東京ー

宮本 孝一　老年学情報センター

参考：鳥越一朗「おもしろ文明開化百一話」ユニプラン2018

明治5年、政治・経済の様々な課題と改革の混乱期に、東京市中の貧民を収容する養育院事業がはじまりました。現代からはなかなか想像できない「養育院が出来たころの東京」はどのような風景だったでしょうか。

もともと江戸人口の半数は各藩の武士（大名・旗本など）でした。幕府が倒れるとその武士たちは一斉に帰郷して江戸からいなくなります。そのため武士以外の住民は生計を立てる職のしくみを失い、貧民が激増しました。さらに不作で農村からも貧民が流入し、新首都東京は浮浪者が増え続けます。「幕府瓦解の余波は江戸市中を非常な混乱状態に陥れ、働くに職なく、食うに糧なき窮民が一時に激増し、飢えて途に横たわる者が数知れぬという有様であって、その惨状は実に名状す可からざるものがあった」（渋沢栄一）

明治5年に明治天皇が牛肉を食したことで、肉食解禁。すぐに牛鍋が大流行。

明治10年には東京市内に牛肉料理店が500件以上あった。

明治時代のカレーライス

明治5年に西洋料理のレシピ本「西洋料理指南」「西洋料理通」が出版された。

それらの本の料理から、コロッケ、カレー、エビフライなど日本人好みにアレンジされたさまざまな「洋食」が誕生した。

明治4年に散髪脱刀令が出ても、チョンマゲの断髪は進まなかった。床屋にはまだ洋式の理髪技術がなく、さまざまな珍髪型が登場した。

明治5年に東京市内の町火消は消防組に改称。
輸入の手動ポンプと蒸気ポンプが使われた。

手動ポンプは放水能力を発揮して活躍したが、道路が狭い東京市中では蒸気ポンプはあまり使われなかった。

明治5年、渋沢栄一35歳。
民部省・大蔵省に仕官。
長男篤二生まれる。

印刷物では東京の京の字に「亰」も使われていた。

文字だけでなく読みもトウキョウとトウケイの2通りが使われていて、どちらか定まっていなかった。

明治4年、両・分・朱を廃止して貨幣の単位を円・銭・厘に改定。明治5年に初の西洋式印刷の紙幣「明治通宝」を発行。ドイツで印刷された。

伊豆に住むおばあさんが海でお札を拾い、お金と思わず、金比羅さんのお札と勘違いして神棚に貼ったという記事が当時の新聞に載った。

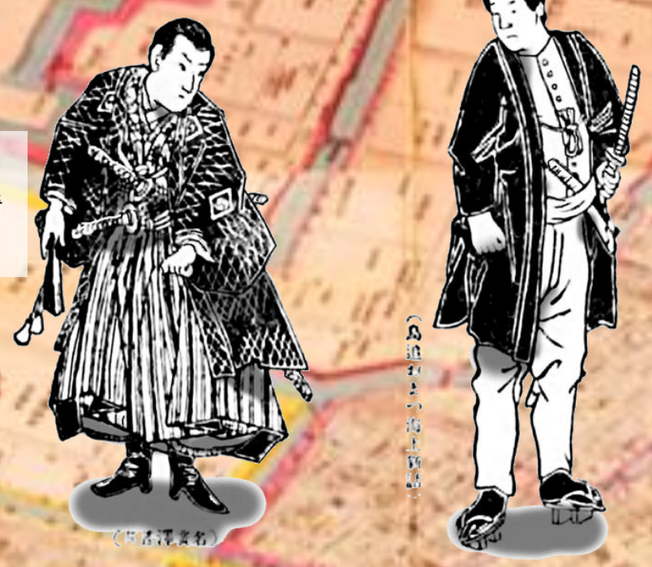
明治5年、郵便事業が全国的にスタート。郵便物の集配員には、失業した飛脚が優先的に採用された。

明治6年、東京見物に来た男が「郵便箱」を「垂れ便箱」とまちがえて用を足して巡査に取り押さえられた。

明治5年、学制発布。全国に小学校を設置。6歳～10歳の4年制だったが、その年齢は丁稚や子守などをしているため就学率は低かった。

「子どもを学校に集め、唐人（外国人）が生き血を絞る」という岡山のデマ騒動の記事が明治6年の東京日日新聞に載った。

明治9年に廃刀令が出されるまで、和洋ごちゃまぜの奇妙な服装の人が多かった。

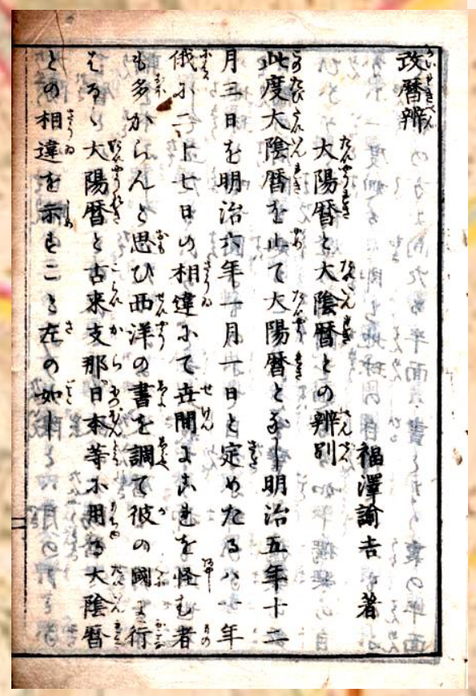


●明治初期 帯刀時代の珍服装

ウサギの飼育が大流行。毛色や耳の形が変わったウサギが高値で売れたため。

価格の変動が激しく、無一文になる没落士族もいた。ウサギバブル。

明治6年にウサギ1匹1ヶ月1円課税したところブームが下火になった。


改暦辨
福澤諭吉 著
大陽暦と太陰暦との辨別
此度太陰暦を止て大陽暦とする事明治五年十二月三日を明治六年一月一日と定めたるは一年俄かに上七日の相違にて世間よく此事を怪む者も多かれども思ひ西洋の書を調て彼の國に行むるに大陽暦と古来支那日本等に用ひる太陰暦との相違を測るに左の如し

旧暦（太陰暦）から新暦に切り替え。明治5年12月3日が明治6年1月1日に。

かんたんな詔書を出して23日後に改暦。国民はなにがなにやら。福沢諭吉はすぐに改暦の解説書「改暦弁」を出版。

この時期に改暦をしたのは、財政難の明治政府が官吏の人件費を節約するためといわれている。

旧暦だと12月のあとに閏12月があるが、この改暦により、12月と閏12月の給与を払わずにすんだ。

明治7年、東京にガス灯設置。

ガス工場（港区　金杉橋あたり）から地下のガス管を通してガスが送られた。

人の表情や動きがやっとぼんやり見える程度の明るさしかなかった。